

群馬工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語
科目基礎情報					
科目番号	0007		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 4	
開設学科	電子メディア工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	英語長文 Concerto No.1 [Basic 入試基礎編]				
担当教員	長井 志保				
到達目標					
□大学入試程度の文法事項を理解できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	□教科書本文を読んで、本文の流れを踏まえて重要な内容を理解することが良くできる。		教科書本文を読んで、本文の流れを踏まえて重要な内容を理解することができる。		□教科書本文を読んで、本文の流れを踏まえて重要な内容を理解することができない。
評価項目2	□教科書本文を読んで、本文の流れを踏まえて重要な内容の要約を書くことが良くできる。		□教科書本文を読んで、本文の流れを踏まえて重要な内容の要約を書くことができる。		□教科書本文を読んで、本文の流れを踏まえて重要な内容の要約を書くことができない。
評価項目3	□教科書音声をもとに、内容を理解しながら、シャドーイングすることが良くできる。		□教科書音声をもとに、内容を理解しながら、シャドーイングすることができる。		□教科書音声をもとに、内容を理解しながら、シャドーイングすることができない。
学科の到達目標項目との関係					
準学士課程 E-3					
教育方法等					
概要	大学入試過去問題を分析する。				
授業の進め方・方法	本授業は学生個々人の学習活動に重点を置く。				
注意点	予習は必須である。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	<主語+動詞>	文の構造を整理する①	
		2週	動詞のあとに続く語句①	文の構造を整理する②	
		3週	動詞のあとに続く語句②	文の構造を整理する③	
		4週	命令文	原形不定詞を理解する	
		5週	受動態	英語の情報構造を理解する	
		6週	助動詞	可能性をあらわす助動詞を理解する	
		7週	時制	助動詞の過去形を理解する	
		8週	名詞句・名詞節	不定詞を理解する	
	2ndQ	9週	形容詞	現在分詞と過去分詞を理解する	
		10週	副詞	-ingのはたらきを理解する	
		11週	形容詞句・形容詞節	-edのはたらきを理解する	
		12週	比較	差の程度のあらわし方を理解する	
		13週	限定詞	関係詞・疑問詞・接続詞の見分け方を理解する	
		14週	代名詞	thatのはたらきを理解する	
		15週	トピックをつかむ	itのはたらきを理解する	
		16週	対比	展開をあらわすことばを理解する	
後期	3rdQ	1週	<主語+動詞>をつかむ	英文の構造を理解する	
		2週	動詞のあとに続く語句	<動詞・補語> などのかたちをとる動詞を理解する	
		3週	等位接続詞	おもな等位接続詞のはたらき	
		4週	節をとらえる①	節のはたらき	
		5週	節をとらえる②	接続詞thatが省略される場合	
		6週	修飾関係をとらえる	副詞の位置	
		7週	句をとらえる	句のはたらき	
		8週	代名詞を・限定詞をとらえる	thatのはたらき	
	4thQ	9週	論理展開をあらわすことば①	<逆説> をあらわすことば	
		10週	論理展開をあらわすことば②	<列挙・追加> をあらわすことば	
		11週	論理展開をあらわすことば③	<対比> をあらわすことば	
		12週	論理展開をあらわすことば④	<結果・結論> をあらわすことば	
		13週	論理展開をあらわすことば⑤	<時の対比> をあらわすことば	
		14週	論理展開をあらわすことば⑥	<主張> をあらわすことば	
		15週	論理展開をあらわすことば⑦	<言い換え> をあらわすことば	
		16週	エッセイ・小説の読み方①	語句を言い換える	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3					
自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3					

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0